

## 教育長のメッセージ

平成30年4月

平成30年度 新年度の始まりに当たって

船橋市教育委員会 教育長

松本 文化

### 1 年度始めに当たって

平成30年度を迎え、本市の教育力の向上を図り、より良い生涯学習社会を実現するために、学校や社会教育施設が中心になり、保護者や地域の皆様とともに、本市の教育目標である「地域の教育力の向上を図り生涯学習社会を実現する」「社会の中で協調し自立できる子供を育成する」ことを目指し、市民の皆様や子供たちがこの船橋に住むことに喜びを感じ、誇りに思うことができる教育施策を推進してまいります。

また、新しい学習指導要領への移行が、無理なく計画的に進められ、各学校の創意工夫により「生きる力」を育む教育が一層充実していくよう、教育委員会としても万全の支援体制をとってまいります。

### 2 「船橋の教育—教育振興ビジョン及び後期教育振興基本計画—」について

平成27年度に策定された「船橋の教育—教育振興ビジョン及び後期教育振興基本計画—」にのっとり、平成29年度は様々な施策を展開しました。

平成30年度も引き続き、2つの教育目標の実現に向けて、8つの基本方針と25の推進目標に基づき、様々な施策を展開してまいります。

<http://www.city.funabashi.lg.jp/kodomo/keikaku/002/p034997.html>

また、この計画は平成31年度までになりますので、新たな計画の策定に着手いたします。

### 3 船橋市教育大綱について

「船橋市総合教育会議」において、市長と教育委員会の協議・調整を経て、平成27年10月に「船橋市教育大綱」が策定されました。

「船橋の教育—教育振興ビジョン及び後期教育振興基本計画—」を確実に推進することを基本とするとともに、特に留意する事項として、次の4つの取り組みに力を入れていきます。

- ①経済的に困難な状況の子供たちへの学習機会の拡充
- ②主権者教育の研究と導入
- ③「ふるさと船橋」への思いの育み
- ④学校教育と社会教育の連携

#### 4 教育予算について

本年度の教育委員会の当初予算は226億4,100万円であり、本年度も市長の公約である「子供たちの未来につながる施策の展開」が、教育予算に反映されています。市長の強い思いに応えるとともに、63万市民の期待に応えるため、教育委員会事務局職員一同、強い責任感をもって、市民のため、子供たちのために充実した事業を推進してまいります。

本年度の主な事業は以下のとおりです。

- （仮称）塚田第二小学校の整備
- スクールソーシャルワーカーの配置
- スクールカウンセラーの体制の強化
- 小・中学校特別支援学級の開設
- 特別支援学校校舎の増築
- 小・中学校等ICT環境の整備
- 準要保護生徒の保護者に対するクラブ活動費の助成
- 障害者スポーツの振興
- ホームタウンチームとの連携
- 図書館サービスの向上
- 取掛西貝塚の保存・整備

#### 5（仮称）塚田第二小学校の整備

大規模なマンション開発等が進む塚田地区における将来の児童数の増加に対応するため、平成33年4月の開校に向けて、「（仮称）塚田第二小学校」の整備に着手します。

#### 6 スクールソーシャルワーカーの配置

教育相談体制の整備・充実に向けて、社会福祉に関する専門的な知識と技術を活用し、子供を取り巻く様々な問題を福祉の面からも解決するスクールソーシャ

ルワーカー（社会福祉士等）を5名配置します。なお、学校からの要請に応じて、学校及び家庭への訪問・相談、関係機関との連携・働きかけを行いながら、問題解決を図ります。

## 7 スクールカウンセラーの体制の強化

いじめや不登校等様々な悩みに関する児童・保護者からの相談に応じるため、全小学校にスクールカウンセラー（臨床心理士等）を引き続き配置します。平成30年度は、新たに配置するスクールソーシャルワーカーとの連携を図ります。

## 8 小学校・中学校に特別支援学級を開設

障害のある児童生徒に対して、一人一人の障害の特性に応じた適切な教育課程を実施できるよう、市内小・中学校への「特別支援学級」設置に取り組んでいます。平成30年度は、法典東小学校、前原小学校にそれぞれ「自閉症・情緒障害特別支援学級」を開設します。また、平成31年4月に「発達障害通級指導教室」を葛飾中学校に開設する準備を進めます。

開設に当たり、児童生徒が集中しやすいよう障害特性に配慮した学習環境づくりを行うほか、通常学級との交流や共同学習を行い、生徒たちが“障害”にとらわれずに「相互理解」を深めることができるよう取り組んでいきます。

## 9 特別支援学校の校舎増築

特別支援学校の児童・生徒数増加に伴う教室不足に対応するため、高根台校舎の増築を平成31年4月からの使用を目指し引き続き行うとともに、金堀校舎の増築に着手します。

## 10 小・中学校等のICT環境の充実

小・中学校等におけるICT環境を整備するため、小・中学校等のICT機器を引き続き整備します。平成30年度は市内中学校の特別支援学級に電子黒板を整備します。

## 11 就学援助における準要保護生徒の保護者に対するクラブ活動費の助成

子供の貧困対策として、中学校のクラブ活動に係る費用の負担を軽減するため、就学援助における準要保護生徒の保護者に対し、一定額を限度に費用を新たに助成します。

## 12 障害者スポーツの振興

障害者スポーツの普及・啓発を図るため、「パラスポーツ協議会」を設置し、障害者スポーツ指導員養成講習会への参加やパラスポーツ体験会・パラアスリートによる講演会等を実施します。

## 13 ホームタウンチームとの連携

本市をホームタウンとするプロバスケットボールチーム「千葉ジェッツふなばし」が、より地元に着し、市民に愛着を持っていただけるよう各種PR事業を実施します。また、本市をホームタウンとするラグビーチーム「クボタスピアーズ」の選手によるタグラグビー教室を市内の小学校で開催します。

## 14 図書館サービスの向上

新たに浜町公民館と北部公民館の図書室をネットワーク化します。また、公民館等図書室の利用時間を9時30分から17時までに延長し、全15拠点の公民館等図書室のサービス拡充を図ります。

## 15 埋蔵文化財保護のための啓発活動

文化財保護の観点から、全国的にも希少な縄文時代早期前半（約1万年前）の貝塚である取掛西貝塚（飯山満町1丁目）の国指定史跡に向けた学術調査を引き続き、実施するとともに、保存・整備計画を検討するため、「取掛西貝塚調査検討委員会」を設置します。また、市民に遺跡の価値を分かりやすく伝え、保存・整備する機運を高めるため、専門家による講演を含む調査報告会を開催するとともに、パンフレットを作成します。

## 16 不祥事根絶

多くの教職員が、誠実に、熱心に、勤勉に職務を遂行している中、たった一つの不祥事が市民の皆様には大きな不安を与え、市全体や教育委員会への信頼を大きく失墜させることにもなります。

全教職員が社会全体の奉仕者であるという意識を持って職務に励むことができるように職場環境を整え、コンプライアンス意識を高めてまいります。